

公益社団法人日本動物園水族館協会 ツシマヤマネコ保護増殖事業の概要について

1. 目標

(1) 持続可能な飼育下個体群の確立と維持

創始個体群の遺伝的多様性を損なうことのないように最大限配慮し、そのために必要な個体数や管理方針を検討しながら持続可能な飼育下個体群を確立し、維持する。

(2) 普及啓発活動の推進

ツシマヤマネコの現状や保護の取り組みについて広く国民に知ってもらう機会をつくり、保護増殖事業をさらに推進する。

2. 事業内容

(1) 体制の構築

環境省の関係会議との連携を図りつつ、飼育園館の連携を強化し、各施設の役割を明確にして飼育下繁殖事業を行うための体制を構築、維持する。

(2) 持続的な飼育下個体群の確立と維持

飼育下繁殖推進のための繁殖計画の策定

個体群管理のシミュレーションを行いながら、短期、中期、長期の目標を設定し、繁殖計画を立案する。また、必要な調整を行う。

飼育管理および飼育下繁殖技術確立のための科学的知見の蓄積

飼育管理および飼育下繁殖技術確立のため性ホルモン、栄養学、人工繁殖等の分野について知見を集積する。また、生息域内保全や野生順化の取組に協力する。

飼育管理ハンドブックの更新

飼育管理、飼育下繁殖技術について新たな知見を飼育管理ハンドブックに反映させ、技術の継承に努める。

(3) 普及啓発活動の推進

各飼育園館において生体展示を通じて普及啓発を行う。また、関係機関・団体と連携したプログラムの実施に向け調整を行う。

(4) その他

飼育園館に対して適切な助言を行う。

3 . 区域

分散飼育として、現在までにツシマヤマネコを飼育または繁殖している以下の日動水正会員所属園館 9 施設及び将来的に飼育する予定の 2 施設にて実施する。

【現在、飼育繁殖を実施している施設】

福岡市動物園 東京都井の頭自然文化園 横浜市立よこはま動物園
富山市ファミリーパーク 九十九島動植物園 名古屋市東山動物園
盛岡市動物公園 沖縄こどもの国 京都市動物園

【将来的な受け入れ予定施設】

浜松市動物園 愛媛県立とべ動物園

4 . 計画期間

10 年間（平成 26 年 12 月 9 日～平成 36 年 12 月 8 日）